

## SHISEIDO MEN アルティミューン パワライジング セラムユーザーインタビュー

### ■A I パネル⑩

16. 小林 拓海（こばやし たくみ） / 38 歳

- 属性： 神奈川県横浜市。既婚・子供 1 人。メーカー営業。
- 美容タイプ： 美容液初心者
- 購入チャネル： 化粧品専門店（資生堂コーナー）
- 購入の動機： 30 代後半になり、急に頬の乾燥や毛穴の目立ちが気になり出した。反町さんの「年齢を力に変える」というコピーが、老け込みたくない自分の心に刺さった。
- 現状： 美容液を塗る習慣がなかったため、最初は面倒だったが、アフターシェーブローション代わりになる快適さに感動。しかし、子供の教育費などを考えると、1.5 万円超の出費を毎月続けるべきか、コスパの良い代替品を探すべきか悩んでいる。

### <結果サマリー>

娘からの「おじいちゃんみたい」に震え、1.5 万円の「お守り」で現役の自分を死守する営業マン

#### 1. 美容についてのこだわり

対象者は横浜市在住のメーカー営業職であり、娘からの「おじいちゃんみたい」という言葉に衝撃を受け、清潔感の維持を急務と捉えている。営業職として「相手に安心感を与える健康そうな肌」を理想としており、鏡を直視してコンディションをチェックすることが習慣化した。「疲れて見えること」への恐怖が、それまで無頓着だった美容意識を呼び覚ます決定的な動機となっている。

**2. 普段のスキンケアと目指す肌** 朝晩、洗顔後にアルティミューンを塗布するシンプルなルーティンを継続している。以前は安価な製品を適当に使用していたが、現在は「夕方になっても顔色が暗くならない肌」を目指し、60 点の自己評価を上げようと努めている。パック等の過剰なケアを「やりすぎ」と敬遠する一方で、日常の基礎的な質を上げることで、仕事における自信やマインドの安定を得ようとする姿勢が顕著である。

**3. 現使用美容液購入経緯** 反町隆史氏の広告にある「年齢を力に変える」という言葉に、現役で戦う男の武器としての価値を見出し、購入に至った。1.5 万円という高価格に対し、当初は強い抵抗感があったが、あえて「大きいサイズ」を選ぶことで「効果が出る前にやめないための覚悟」を自分に課した。店舗カウンターでの体験と「髭剃り後の一本で済む」という利便性の提示が、高額支出への最終的な納得感を生んでいる。

**4. 現使用美容液使用実態と評価** 高価な製品ゆえに「教えられた通りの丁寧な塗布」を徹底しており、その一手間が自分を労わる実感に繋がっている。使用感や香り、肌の安定感には「5」に近い満足を抱いているが、減りの早さと価格への心理的負担がマイナス要素となり、総合評価は「4」に留まる。対象者にとって本製品は、単なる化粧品を超え、自分を誇らしく思わせてくれる「精神的なお守り」としての役割を果たしている。

**5. 今後の使用意向** 今後の継続意向は「3」と慎重である。製品の質には全幅の信頼を置いているが、教育費等の現実的な家計状況を背景に、「ブランド料を払っているだけではないか」という疑念と常に戦ってい

る。現状の満足度を維持しつつも、SNS 等で接触する「安価で高機能な代替品」への浮気心は否定できない。高品質を維持しながら、罪悪感なく使い続けられる「継続の正当性」をブランド側に求めている。

## 1. 美容についてのこだわり

**インタビュアー：**

今日はよろしくお願ひいたします。まずはお名前と、今お住まいのエリア、ご家族構成、そして今どのようなお仕事をされているか教えていただけますか。

**対象者：**小林拓海です。よろしくお願ひします。住まいは横浜市内で、妻と小学生の娘の3人で暮らしています。仕事はメーカーで営業をやっている、外回りも多いですね。

**インタビュアー：**ありがとうございます。営業で外回りも多いとのことですが、ご自身の「美容」について、スキンケアに限らず何かこだわっていることや、普段意識していることはありますか？

**対象者：**こだわり……と言えるほど大層なものはないんですけど、やっぱり営業職なので、清潔感だけは損なわないように、というのは最低限気をつけていますね。あとは、最近になって「疲れてる？」って言われるのが嫌で、少しでも若々しくというか、シャキッとしたいなどは思っています。

**インタビュアー：**「疲れてる？」と言われるのが嫌、とのことですが、それは何かきっかけになるような出来事があったんでしょうか。

**対象者：**そうですね、以前、娘に「パパ、最近おじいちゃんみたいだね」って冗談っぽく言われたことがあって。鏡を見たら、なんだか肌がカサカサしてるし、毛穴も開いてる気がして、ガーンときたんですよ。それ以来、身だしなみというか、肌の質感みたいなものは意識するようになりました。

**インタビュアー：**娘さんの一言がきっかけだったんですね。その「肌の質感」を意識するようになってから、具体的に何か変化させたことはありますか？

**対象者：**うーん、まずはちゃんと鏡を直視するようになりました。今までは髭を剃る時にパッと見るだけだったのが、「あ、ここが乾燥してるな」とか「影ができてるな」とか、自分のコンディションをチェックするようになったのが一番の変化かもしれません。

## 2. 普段のスキンケアと目指す肌

**インタビュアー：**

鏡でご自身のコンディションをチェックされるようになったとのことですが、今の小林さんの、朝と夜、それぞれのスキンケアのルーティンを教えていただけますか。まず、朝起きてから顔に何かつけるまでの流れと、使っているブランド名を教えてください。

**対象者：**朝は、まず洗顔料で顔を洗います。ブランドは特にこだわりがなく、ドラッグストアで買った「メンズビオレ」の泡で出てくるタイプです。そのあと、髭を剃ってから、今お話ししている「SHISEIDO MEN」のアルティミューン（パワライジング セラム）を塗ります。基本はそれだけです。あ、冬場で乾燥がひどい時だけ、妻が使っている「キュレル」の乳液を少し借りることもあります。

**インタビュアー：**髭剃り後にアルティミューンを塗るのが、今の朝のルーティンなんですね。夜はいかがでしょうか。

**対象者：**夜は、お風呂の中で洗顔して、上がったからまたアルティミューンを塗ります。夜はそれ一本で終わらせることが多いです。営業で遅くなって疲れている時は、正直「面倒だな」と思うこともあるんですけど、塗らないと翌朝の肌が突っ張る感じがするので、なんとか続けています。

**インタビュアー：**毎日欠かさず塗られているんですね。ちなみに、毎日ではないけれど、たまに行うような

特別なケア……例えばパックをしたり、どこかお店でケアを受けたりといったことはありますか？

**対象者：**いや、それは全くないですね。パックなんて自分でするのは照れ臭いというか、そこまでいくと「やりすぎ」かなって思っちゃう自分がいて。お店に行くのも、そこまで美意識が高いわけじゃないので、今のところは考えていません。

**インタビューア－：**なるほど、「やりすぎ」と感じるラインがあるんですね。そういった日々のケアを通して、小林さんは最終的にどのような肌状態を目指していらっしゃるのでしょうか。

**対象者：**そうですね……「若返りたい」とまでは言いませんが、実年齢よりは少し若く見られたい、というのは本音です。具体的に言うと、夕方になっても顔色が暗くならず、テカってもいけないけどカサついてもない、清潔感のある「健康そうな肌」ですね。仕事の相手に「この人、ちゃんとしてるな」という安心感を与えられるような、そんな肌が理想です。

**インタビューア－：**夕方になっても顔色が暗くならない、安心感を与えられる肌、ですね。その理想の状態に対して、今の小林さんの肌は、ご自身で何点くらいだと感じていますか？

**対象者：**うーん……60点くらいですかね。アルティミューンを使い始めてから、明らかに手触りは良くなったし、毛穴も少し目立たなくなった気はするんです。でも、やっぱり午後になると少し疲れた顔に見える瞬間があって。もっと劇的に変わるかなと期待していた部分もあるので、合格点だけど満点ではない、という感じです。

### 3. 現使用美容液購入経緯

**インタビューア－：**

今お使いの「SHISEIDO MEN アルティミューン パワライジング セラム」ですが、これを買おうと思った最初のきっかけは何だったのでしょうか。

**対象者：**さっき話した娘の一言があってから、なんとなくネットで「男性 スキンケア 30代」とかで検索し始めたんです。そうしたら、反町隆史さんの広告が出てきて。同世代……よりは少し上ですけど、あんな風に「年齢を力に変える」って言われると、単純に「かっこいいな」って。あ、これなら自分も使っていいやつだって思えたんですね。

**インタビューア－：**反町さんの広告を見て「これなら自分も使っていい」と感じたのは、具体的にどういう部分にそう思わされたのですか？

**対象者：**なんて言うか、これまでの男性用化粧品って「脂を落とす」とか「スースーする」みたいな、若者向けか、あるいはもっと上の世代の「身だしなみ」という感じが強かった気がして。でも、あの広告はもっとこう……現役で戦っている男の「武器」みたいな、ポジティブな感じがしたんです。

**インタビューア－：**なるほど、「武器」のようなポジティブな印象だったんですね。広告を見てから実際に購入するまで、どのくらいの期間、どんなことを検討されましたか？

**対象者：**期間としては2週間くらいですかね。正直、値段を見て「高いな！」と思いました（笑）。1万5千円くらいしますよね？美容液なんて使ったことなかったから、相場がわからなくて。だから、YouTubeでメンズコスメを解説している動画をいくつか見ました。他の5,000円くらいのやつと何が違うんだろうって。

**インタビューア－：**その時、比較の対象になった具体的なブランドや、判断の基準にしたことはありましたか？

**対象者：**ええと、たしか「アラミス」とか、あとは「無印良品」のエイジングケアシリーズも一応見ました。コスパで言えば無印なんですけど……。でも、結局は「横浜そごう」の資生堂カウンターに行ったんです。

**インタビューア－：**わざわざカウンターまで足を運ばれた。それはなぜだったのでしょうか。

**対象者：**ネットで買うのもいいんですけど、失敗したくなかったんです。高い買い物だし、自分の肌に本当に合うのか、あの反町さんの世界観が自分にも当てはまるのか、確かめたくて。お店の人に「初心者なんですけど」って相談して、手の甲で試させてもらったら、香りがすごく良くて。あと、ベタつかないのにスツと入る感じが「これなら続けられるかも」と思わせてくれました。

**インタビュアー：**手の甲での体験が、最後の「決め手」になったということでしょうか。

**対象者：**そうですね。それと、お店の人に「これはアフターシェーブローションとしても優秀ですよ」って言われたのが大きかったです。専用のもを何工程も塗るのは無理だけど、髭剃り後にこれ一本でいいなら、1万5千円の投資も「手間賃込み」と考えればアリかな、と自分を納得させました。

**インタビュアー：**それまでは、美容液というカテゴリーのものは一切使っていなかったんですよね？

**対象者：**全くです。洗顔して、せいぜいギャツビーの安いやつをバシャバシャつけるくらい。今回、あえて高い「美容液」に踏み込んだのは、やっぱり「今のままじゃいけない」という焦りがあったんだと思います。安物で誤魔化すんじゃなくて、一番いいやつを使って、自分の肌の衰えにブレーキをかけたい、みたいなの。

**インタビュアー：**

9900円のもう少し小さいサイズ(30ml)もありましたが、そちらは検討されなかったんですか？

**対象者：**ああ、ありましたね。でも、それは選びませんでした。というのも、さっきお話した通り、僕はこれが「美容液デビュー」だったんです。もし小さい方を買って、中途半端にすぐ使い切ってしまったら、結局効果がわからないまま「ああ、やっぱりこんなもんか」って、また前の適切なケアに戻っちゃう気がしたんですよね。

**インタビュアー：**「中途半端に終わってしまう」ことを避けたい、というお気持ちがあった。

**対象者：**そうです。せっかく反町さんの広告に背中を押されて、「よし、自分の肌に投資しよう」って決めたわけですから。1万5千円の大きい方(50ml)を買うことで、自分に「逃げ道をなくす」というか……「これだけのお金を払ったんだから、ちゃんと毎日続けて、最後まで使い切るぞ」という覚悟を決めたかったんだと思います。

**インタビュアー：**ご自身への「覚悟」として、あえて高い方を選んだ、と。

**対象者：**はい。それに、カウンターの店員さんも「朝晩使って2ヶ月くらい持ちますよ」って言っていたので。1ヶ月あたりで見れば、飲み代1回分か2回分我慢すればいい話かなって。中途半端に安い方を買って、効果が出る前にやめちゃうのが一番もったいないなと思ったんです。

#### 4. 現使用美容液使用実態と評価

**インタビュアー：**

小林さんが現在お使いの「SHISEIDO MEN アルティミューン パワライジング セラム」について、具体的な使い方のこだわりを伺いたいと思います。朝晩お使いとのことですが、塗る時に特に意識している部位や、手の動かし方、力の入れ具合などはありますか？

**対象者：**意識していること……そうですね、お店で「下から上に引き上げるように塗ってください」と言われたので、それは守るようにしています。特に気になる頬の毛穴のあたりは、指先で少し念入りに、円を描くように塗り込んでいますね。あとは、手のひら全体で最後にグーッと顔を抑え込むというか、浸透させるようなイメージでやっています。

**インタビュアー：**下から上へ引き上げ、頬の毛穴に念入りに塗り込む。なぜ、そこまで丁寧に意識して行っているのでしょうか。

**対象者：**やっぱり、1万5千円もしましたから（笑）。ただバシバシつけるだけじゃ、もったいないというか。ちゃんと教えられた通りにやらないと、本来の効果が出ないんじゃないかという強迫観念みたいなものもありますね。この「一手間」が、自分の肌を労わっているっていう実感に繋がっている気がします。

**インタビュアー：**なるほど、その「一手間」が労わりへの実感になっているのですね。では、この美容液に対する今の満足度を、5段階（5が最高、1が最低）で評価するとしたら、何段階になりますか？

**対象者：**うーん……「4」ですね。

**インタビュアー：**「4」と評価された理由、特に満足している点と、逆に「ここが物足りない」と感じる点があれば教えてください。

**対象者：**満足しているのは、やっぱり「使っている時の高揚感」と「肌の安定感」です。つけた瞬間のあの独特の、少しスパイシーで上品な香りを嗅ぐと、スイッチが入る感じがします。肌も、使い始めてから夕方のかすみが減ったというか、鏡を見た時の「あ、疲れてるな」という感覚が明らかに減りました。そこは本当に満足しています。

**インタビュアー：**では、マイナス1点の「物足りない点」についてはどうでしょうか。

**対象者：**……これはもう、さっきも言いましたけど「価格」と「減りの早さ」です。2ヶ月持つと言われましたけど、丁寧に塗っていると「あ、もうこれだけしか残ってない」って不安になる。満足はしているんですけど、この満足を維持するためのコストが、自分の生活水準に対して少し「重い」と感じる瞬間があるんですよ。だから、満点の5をつけるには、もう少し「続けやすさ」が必要かなと思います。

**インタビュアー：**他にも、例えばパッケージの使い勝手や、ブランドとしてのメッセージなど、気に入っている点や逆に気になる点はありますか？

**対象者：**パッケージは重厚感があって好きですよ。洗面所に置いてあっても「男の道具」って感じで、妻の化粧品と並んでいても違和感がない。ただ、一点だけ要望があるとすれば、残量がもっとパッと見てわかるといいかなと思います。突然なくなるのが怖いので（笑）。

**インタビュアー：**

小林さんにとって、このアルティミューンという美容液の「最大の魅力」を一言で表すとしたら、何になりますか？

**対象者：**……「自分を少しだけ誇らしくさせてくれる、お守り」ですかね。単なるスキンケア以上の、精神的な支えというか。これを塗っている自分は「ちゃんと自分に投資している」と思わせてくれる、その感覚こそが、僕がこの高いお金を払って得ている一番のメリットかもしれません。

## 5. 現使用美容液 今後の使用意向

**インタビュアー：**

これまでの話を伺ってきましたが、改めて、この「SHISEIDO MEN アルティミューン パワライジング セラム」を今後も使い続けたいかどうか、5段階（5が「絶対に使い続けたい」、1が「全く使い続けたくない」）で教えていただけますか。

**対象者：**……「3」ですね。

**インタビュアー：**「3」という、ちょうど真ん中の評価ですね。その理由と、使い続けることで今後どのようなことを期待されているのか、教えてください。

**対象者：**正直なところ、効果については「5」なんです。 これを使い続ければ、娘に言われたような「おじいちゃん」感は防げるだろうし、営業先でも自信を持って振る舞える。その期待はすごく大きいんです。でも、やっぱり「家計への負担」がチラついてしまって。「いつまでこの贅沢を自分に許せるか」という葛藤

が常にあるので、手放して「絶対使い続ける」とは言い切れない。常に他の選択肢を探している自分もいます。

**インタビュアー：**常に他の選択肢を探している。具体的に、今他に興味を持っている美容液や、気になっているポイントはありますか？

**対象者：**最近 SNS とかで、もっと手頃な価格帯の「高機能メンズ美容液」みたいな広告がよく出るじゃないですか。1万円を切るくらいの価格で、同じように肌を強くしてくれるとか、乾燥を防ぐとか。そういう「コスパの良い代替品」には正直、興味があります。もし、アルティミューンと同等の満足感がもう少し安く手に入るなら、スイッチしてしまう可能性は高いと思います。

**インタビュアー：**なるほど。最後に、この「SHISEIDO MEN アルティミューン パワライジング セラム」に対して、何か要望や「こうなったらいいのに」と思うことがあれば、どんなことでもお聞かせください。

**対象者：**……わがままを言えば、もう少し「継続しやすいプラン」があったらいいなと思いますね。定期購入で大幅に安くなるとか、詰め替え用がもっと安価になるとか。この「特別なものを使っている」という感覚は失いたくないけれど、生活者としての現実も無視できない。資生堂さんという大きなブランドなら、僕らみたいな「背伸びしてでも良いものを使いたい」と思っている層が、罪悪感なく続けられるような工夫をしてくれると嬉しいですね。